

第55回 東北農業経済学会・宮城大会のご案内

標記大会を以下のとおり開催することになりました。会員各位の積極的なご参加をお待ちしております。

=====
日 時 2019年9月4日（水） 午前：編集委員会、学会賞選考委員会、役員会
午後：個別報告
9月5日（木） エクスカーション
9月6日（金） 大会シンポジウム、総会、懇親会

第55回東北農業経済学会宮城大会は、令和元年度日本農業経営学会研究大会と連動して開催するため、大会シンポジウムを日本農業経営学会の地域シンポジウムと共催することになりました。併せて、エクスカーションも共催することになりました。

◆宮城大会実行委員会

委員長：伊藤房雄（東北大学） 事務局長：小山田晋（東北大学）

◆プログラム

第1日 2019年9月4日（水） 各種委員会等、個別報告

会場：東北大学青葉山キャンパス 青葉山commons（仙台市）

- | | |
|-----------------|-------------|
| ○編集委員会、学会賞選考委員会 | 9:30～10:30 |
| ○役員会 | 10:30～12:00 |
| ○個別報告 | 13:00～16:00 |

第2日 2019年9月5日（木） エクスカーション

エクスカーションの詳細については、**6頁**をご覧ください。

第3日 2019年9月6日（金） 大会シンポジウム、総会、懇親会

会場：東北大学青葉山キャンパス 青葉山commons（仙台市）

- | | |
|-------------------|-------------|
| ○受付 | 8:30～ |
| ○開会・会長挨拶 | 9:00～9:10 |
| ○来賓挨拶 | 9:10～9:20 |
| ○大会シンポジウム | 9:20～16:00 |
| ○総会 | 16:00～17:00 |
| ○懇親会（会場：青葉山みどり食堂） | 17:30～19:00 |

大会シンポジウム

「津波被災地域の新たな農業の展開とその担い手」

2011年3月11日の巨大地震と大津波で甚大な被害を被った宮城県沿岸部。あれから8年6ヶ月経過するなか津波被災地域では、わが国農業が抱えている構造問題の解消と新たな担い手の確保を意図する政策的支援のもとで、新たな農業が展開されている。本シンポジウムでは、その新たな農業がどのようなプロセスを経て、またどのような課題を乗り越えて展開しているのか、そこでの農業経営と担い手の特徴、今後の課題等について検討する。

座長：門間敏幸氏（東京農業大学名誉教授）

報告1：津波被災地域の農地復旧・整備と合意形成（仮題）

郷古雅春氏（宮城大学）

報告2：食料生産基地再生に向けた先端技術の導入（仮題）

大谷隆二氏（東北農業研究センター）

報告3：土地利用型スマート農業の実践と課題（仮題）

鈴木保則氏（農事組合法人 井土生産組合）

報告4：コミュニティ再生を基礎とする地域営農の展開（仮題）

安部俊郎（有限会社アグリードなるせ）

報告5：共にイグナルための挑戦（仮題）

阿部聡（株式会社イグナルファーム）

報告6：新しい農業の担い手の特徴と今後の営農展開の課題（仮題）

西田陽平（宮城県農業会議所）

討論者：調整中

◆大会に関する各種申し込等

1. 大会参加の申し込み

会場設営や資料準備の都合上 **7月26日(金)までに**申し込み用紙(7頁)をファックスもしくは必要事項を記載したEメールにてお申し込み下さい。大会参加は当日も受け付けますが、事前申込みにご協力をお願いします。

シンポジウム参加費(資料代)は2,000円、懇親会参加費は4,000円(学生会員は2,000円)です。代金は当日、会場受付にて承ります。

2. 個別報告の申し込み

個別報告を次の要領で募集いたします。ふるってご応募下さるようお願い申し上げます。

個別報告プログラムを8月初旬に学会ホームページ(<http://aestohoku.jimdo.com/>)に掲載しますのでご確認下さい。

(1) 申し込み方法

申し込み用紙(7頁)の「2. 個別報告申込み」に必要事項をご記入の上、**7月26日(金)までに**、ファックスまたは必要事項を記載したEメールにてお申し込み下さい(申し込み先は次頁表を参照)。

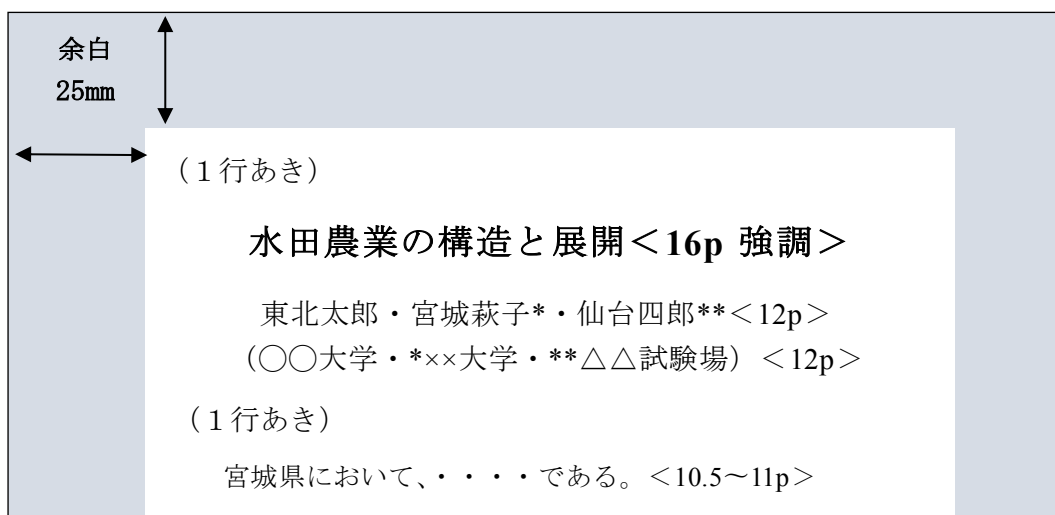
(2) 報告要旨の作成要領

個別報告を申し込まれた方は、下記要領で報告要旨を作成してください。原則として、提出原稿がそのまま要旨集として印刷されますので、執筆要領を遵守・確認願います。

- ① A4サイズ1枚、横書き、モノクロ、余白(マージン)は上下左右25mm
- ② フォントは和文MS明朝、英字century。10.5~11ポイント。42字×36行に設定
- ③ タイトル16ポイント、強調(ボールド)、氏名と所属機関12ポイント

※イメージは次のようになります。ご参考にしてください。

<A4用紙1枚、横書き、モノクロ>



(3) 報告要旨の提出

8月9日(金)までに、MSワード、一太郎、リッチテキストいずれかのファイルをCD-ROMで郵送、または添付ファイルでEメール送付して下さい(申し込み先は下表)。
なお、提出の際には、氏名、所属、連絡先(住所、電話番号、Eメールアドレス)も併せてお知らせ下さい。

(4) 個別報告の報告時間及び使用器材

- ① 報告時間は25分(報告20分、質疑5分)です。報告者は時間厳守をお願いします。
- ② 実行委員会ではプロジェクトのみ準備いたします。**報告者は各自パソコンをご持参ください**。なお会場のプロジェクトは、**RGBケーブル(VGA)、HDMIケーブルでの接続にのみ対応しています**。
- ③ 報告者は当日(9月4日)の個別報告の開始時間(13時)までに、各自のPCと報告会場のプロジェクターの動作確認を必ず実施してください。**接続不具合による報告時間の延長はいたしません**。念のため報告ファイル(PDF形式)を保存したUSBメモリをご持参されることをお勧めします。
- ④ **配布資料は40部**ご用意下さい(会場ではコピーできませんのでご注意下さい)。

表 大会参加および個別報告の申込み・問合せ先(まとめ)

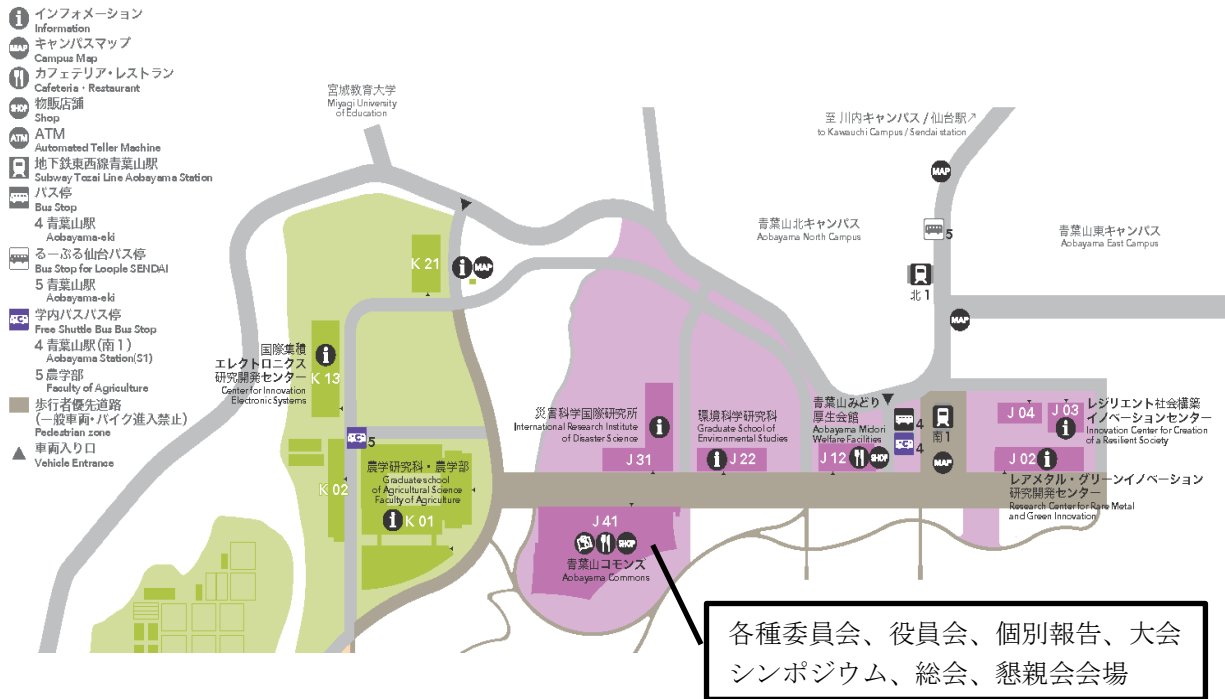
	締め切り	申込み・問合せ先
大会参加申し込み	7月26日(金)	〒980-0845
個別報告エントリー		宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉468-1 東北大学大学院農学研究科 小山田晋 宛
個別報告要旨提出	8月9日(金)	TEL 022-757-4184 FAX 022-757-4184 Email shin.oyamada.e6@tohoku.ac.jp

◆会場へのアクセス

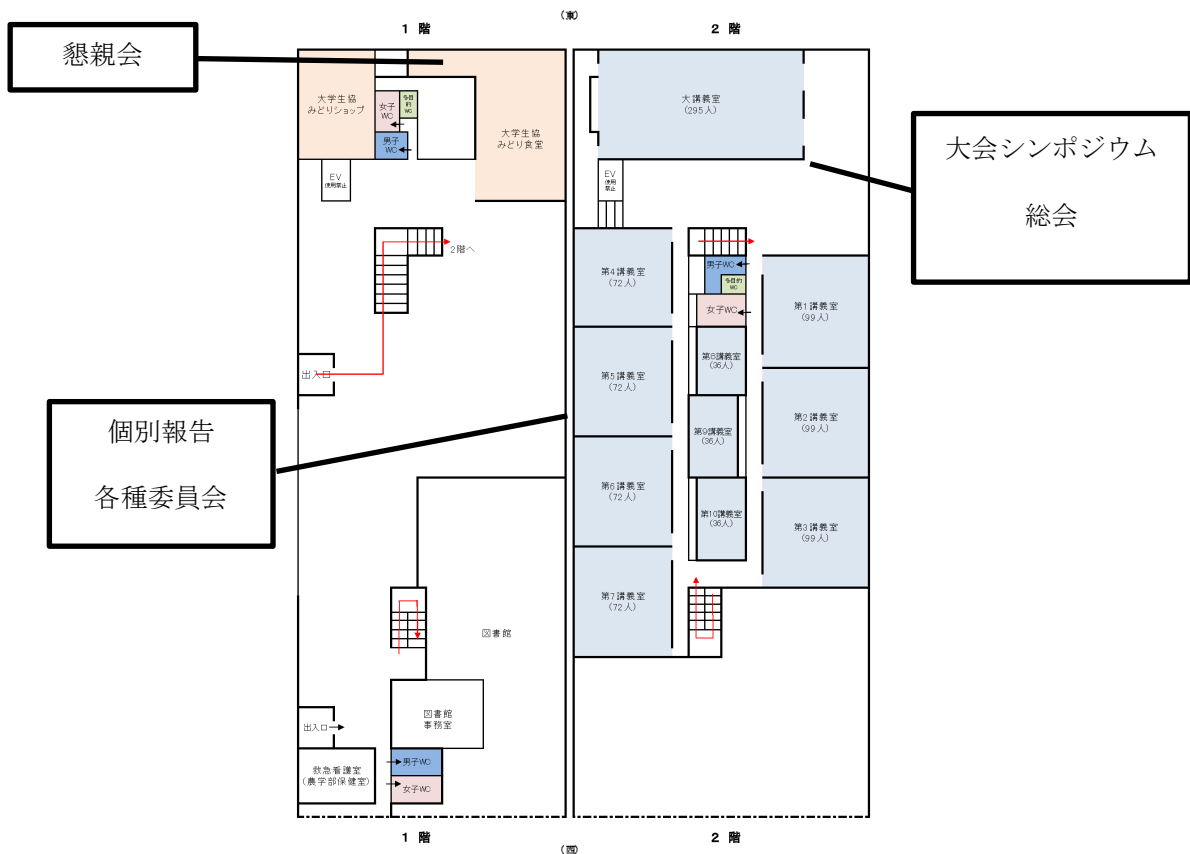
注：駐車場は用意しておりませんので、お車での来場はご遠慮ください。



地下鉄仙台駅から地下鉄東西線「八木山動物公園行」に乗車し、「青葉山駅」下車後、南1出口より南へ進み、通りに出たら右折し、徒歩約5分。

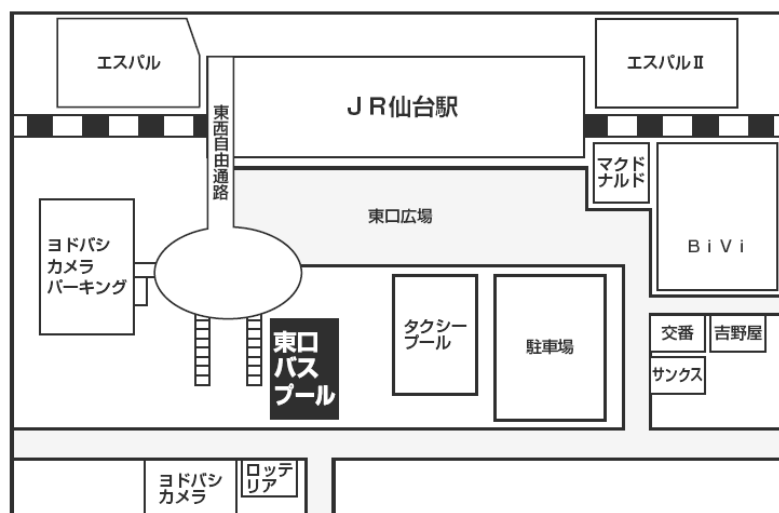


青葉山commons 講義室等配置図



【エクスカーションのご案内】

1. 日時：9月5日（木）9：00（出発）～16：30
2. 集合場所：JR仙台駅東口バスプール集合 *8：50集合（時間厳守でお願いします）



3. 視察先：以下の2つのコースのどちらかに参加できます。
Aコース：JAみやぎ亘理イチゴ生産部会（亘理町）→（昼食）→（農）林ライス（岩沼市）
→（農）井土生産組合（仙台市）→仙台駅東口（解散）
Bコース：（株）デ・リーフデ北上（石巻市）→（昼食）→（株）イグナルファーム
（東松島市）→（有）アグリードなるせ（東松島市）→仙台駅東口（解散）
*訪問先は変更の可能性があります。
4. 参加費：1人2,000円（昼食代は含みません）
参加費は、当日、バス内にて徴収いたします。
5. 申込方法：参加希望者は、7月26日（金）までに、大会実行委員会エクスカーション
担当（伊藤）宛に、メール（fusao.ito.c2@tohoku.ac.jp）で、ご氏名、ご所属、携帯番号、
上記のご希望コースをご連絡ください。

なお、バスの定員の関係から、Aコース、Bコースともに**先着20名**とさせていただきます。
解散場所は、上記の集合場所と同じになります。

送信先FAX番号 022-757-4184

東北大学大学院農学研究科 小山田晋 へ

締切 7月26日(金)

※Eメールで申し込む場合は、下記の項目についてテキスト入力し送付してください。
(送付先 **shin.oyamada.e6@tohoku.ac.jp**)

氏名：_____

所属：_____

電話：_____

Eメールアドレス：_____

1. 大会参加希望の有無 (いずれかに○印)

1) 大会シンポジウム・・・参加 ・ 不参加

2) 懇親会・・・・・・・・・・参加 ・ 不参加

3) 個別報告・・・・・・・・・・参加 (報告：する・しない) ・ 不参加
↳ 2. へ

2. 個別報告申込み

1) 報告テーマ_____

2) プロジェクターを使用・・・する ・ しない (いずれかに○印)

3) 学生の方は次もご記入ください

指導教員氏名_____ Eメールアドレス_____